



あごが外れた！

潘 静
P A N J I N G

私は日本に来て、あまり経験できない貴重な体験をしました。皆さんは顎が外れた人を知っていますか？マンガの世界なら分かりますが、まさか私になるとは思いませんでした。

昨年末私が寮で日本語の勉強をしていた時のことです。疲れていたのも、何気なく大きなあくびをした時のことでした。私は口を閉じることが出来なくなつたのです。もちろん初めての経験でした。最初は一体何が起こったのか、自分でも分かりませんでした。私は急いで仲間に助けを求めました。「顎が外れた」と言っているのですが、全然言葉になりません。仲間のみんなは私の顔がおかしいみたいで、げらげらと大笑いしています。中には「写真を撮ってもいい？」などと冗談を言う仲間もいました。私は焦りました。そして不安と悲しさのあまり涙が出てきました。最初はからかっていた仲間も、事の重大さによりやく気が付き、急に慌て出しました。

「どうしよう。お母さんに電話しなきゃ」と言って、社長さんの奥さんに電話をしました。

奥さんと社長さんは寮に飛んできました。私を見るや否や「本当だ。ちょっと待ってね。今病院に連絡するから」と言って、病院に電話をしはじめました。でも夜なのでなかなか診察をしてくれる所が見つかりません。しばらくしてやっと病院が見つかりました。車で直ぐに向かいました。ずっと口が開いたままなのでとても疲れます。よだれも出てきました。でもお母さんは「もう少しだから頑張るってね」と言って私

を励ましてくれました。

病院へ着いた後、受付の人が私を見るなり、「うちでは無理です」と言いました。でもお母さんは「先程先生に話してあります」と言い返しました。そして無事見てもらうことになりました。待合室で待っている時も、周りの人は不思議そうに私をじろじろ見ていました。その時間がとても長く感じられました。

診察室に入ると先生は「大変ですね。私も初めてですよ」と言いました。その言葉を聞き私は少し不安になりました。そして看護婦さんが私の頭をしっかりと抑え、先生が顎を上下に動かし始めました。すると「がくっ」とした後で私の顎が元に戻りました。口を開いたり閉じたり出来ます。もう痛くありません。周りにいた仲間は「治った！よかたね」と大喜びです。私はほっとしました。

帰る時に奥さんは言いました。「あの先生は脳外科でとても有名な人です。連絡がもう少し遅かったら、帰っていたそうです」私は本当に運がよかったです。

皆さんは五分でも口を開けていることができますか？私は結局二時間くらい口が開いたままでした。一言で言って、とにかく疲れました。私はそれ以降あくびをする時は、大きな口を開けてしないよう気をつけています。私はいつもみんなからかわれています。「静ちゃん、口が大きい過ぎるわよ。顎に注意してね」と。皆さんもどうぞご注意下さい。